

αオリゴ糖など

長寿ホルモン・  
アディポネクチンを増加

シクロケム

シクロケム(東京都中  
央区、☎03・62262・  
1511)は、「長寿ホ  
ルモン」と呼ばれるア  
ディポネクチンに着目。  
自社素材のαオリゴ糖  
(α-シクロデキストリ  
ン)およびCoQ10包接  
体、R-αリポ酸包接体  
によるアディポネクチン  
分泌促進作用を通じたア

ンチエイジングを提案し  
ている。

アディポネクチンは脂  
肪細胞から分泌される生  
理活性タンパク質の一  
種。慶應義塾大学の研究  
では、100才以上の高  
齢者の血中アディポネク  
チン濃度が平均の2倍以  
上に達することが報告さ  
れ、近年「長寿ホルモン」

にあることが分かってお  
り、小型LDLを低減さ  
せることでアディポネク  
チンの増加が期待でき  
る。同社では、αオリゴ  
糖を用いた臨床試験で小  
型LDLの低下作用を確  
認。機能性表示食品とし  
ての届出も完了してお  
り、同素材の摂取によっ  
てアディポネクチンの分  
泌促進につながる可能性  
があるとしている。

として注目されている。  
一方、アディポネクチ  
ンを低下させる要因とし  
て、スタチン系医薬品の  
使用や小型LDLコレス  
テロールの増加が指摘さ  
れている。スタチンは脂  
質代謝異常の治療に利用  
される一方、ミトコンド  
リアの活性を低下させ、  
アディポネクチンを減少  
させるリスクもある。  
同社では、γオリゴ糖  
による包接技術でミトコ  
ンドリア活性に関与する  
CoQ10の腸液中可溶性  
による吸収性向上とR

特集 II

・αリポ酸の胃液中安定  
化による吸収性向上に成  
功。これらの包接体を用  
いた試験では、アディポ  
ネクチンの分泌促進効果  
を確認している。

もう一つのリスク因子  
である小型LDLは、粒  
子径25・5nm以下のLD  
Lを指し、動脈硬化を引  
き起こす主要なリスク因  
子とされる。アディポネ  
クチンとは負の相関関係

にあることが分かってお  
り、小型LDLを低減さ  
せることでアディポネク  
チンの増加が期待でき  
る。同社では、αオリゴ  
糖を用いた臨床試験で小  
型LDLの低下作用を確  
認。機能性表示食品とし  
ての届出も完了してお  
り、同素材の摂取によっ  
てアディポネクチンの分  
泌促進につながる可能性  
があるとしている。

寺尾啓二社長は「ア  
ディポネクチンの分泌促  
進を通じて、代謝機能の  
改善に基づく『本質的な  
アンチエイジング』を提  
案していきたい」と話し、  
さらなる普及啓もうに取  
り組んでいく考え。